

職位/Position 准教授 教員氏名/ Name 齋藤 紀男 / Norio Saitoh	オフィスアワー/Office hours 月曜日 昼休み 金曜日 昼休み	研究室/Office number 3F教員研究室 (紀尾井町) F207 (東金)
教員の所属学会並びに社会活動・課外活動顧問など/Affiliated Academic Society & Social Activity IEEE (the Institute of Electrical and Electronics Engineers)		
ゼミ名/Seminar 企業経営に活かす情報システム・情報通信技術		
2年次までに修得していることが望ましい科目/ Preferable courses should be taken before the end of second-year studies 経営情報基礎論、情報メディア論、情報システム論、情報学特論		
研究指導内容とその進め方/Teaching system and content I. 初年度 (3年次) /First year(third-year students) 情報システムは、経営戦略を考える上で今や中核的な役割を担っており、その重要性は増すばかりである。また、情報システムを成り立たせている情報通信技術の進歩は著しい。この進歩に支えられて急速に業績を伸ばす企業が今の経済社会を牽引する存在になっている。社会人として重要な基礎教養の一つとして、以下の内容について学習する。 <ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの成り立ち (過去から現在)、最先端のシステム構成の理解 ・情報通信技術の構成要素、重要な技術の詳細な内容、最先端の技術動向 ・経営の観点で見た情報システムの役割、経緯戦略の中での位置づけ 上記のテーマを書籍、雑誌、Web上の情報を活用して理論と事例を組み合わせる学習する。ゼミ生は予習として事前調査を行うこと。グループに分かれてグループ討議を行い、討論の成果を発表すること。発表を通して、課題意識と取り組みに関して情報共有していく。		
II. 次年度 (4年次) / Second year (fourth-year students) 3年時で習得した知識を使い、架空の組織及びプロジェクトを想定し、経営課題と情報システムの役割と期待する機能を仮定した経営シミュレーションを行い、実践的な知識習得を図る。架空の組織、プロジェクトについては社会で現実に生じている事象からアレンジしたストーリーを教員と学生の対話を通して考案する。 <ul style="list-style-type: none"> ・成功事例から、何が成功のポイントであったかを学習する。 ・失敗事例から、失敗原因を分析し、何が必要であったかを考える。 ・ゼミ生と共に新たなビジネスを仮定し、情報システムをどのように活用するべきかシミュレーションし、経営目標の達成へ向けて情報システムの戦略的活用を進めるプロセスを学習する。 卒業論文を完成させるため、各自のストーリーに基づき発表と議論を継続的に実施する。その過程を通じてプレゼンテーション能力、ディスカッション能力、情報システムに関わる広い知識、深い専門性を獲得する。		
III. 卒業論文の指導、その他指導について/Graduation thesis guidance and others 卒業論文 (2,000字程度) 作成の指導 (論文としての体裁を重視) 就職に関する指導 情報処理技術者試験の資格取得指導		
教科書、参考書などについて/Textbooks, reference books 必要な場合は適宜連絡します。		
ゼミライフ : (合宿、ゼミ会等)/Seminar activities(meetings, training camps) 新型コロナウイルス感染症が収束しない中、困難が伴いますが、皆さんの要望に応じて検討します。		
ゼミ生に対する要望・注意等/Requests, comments 積極的、自主的な取り組みを期待します。ゼミ生一人一人の心がけが重要です。 生涯の友を、このゼミで作っていきましょう。		